

協働事業報告書

事業の名称	食べるとはどういうことだろう（さつまいも栽培をとおして）		
団体名・氏名	鳴尾東子ども会協議会	関係課(G)名	健康増進グループ
事業費	223,300円	市の負担額	178,000円

事業の目的及び内容	(目的) 住宅地に住み、農作を知らない子ども達に、さつまいもの栽培を通じて食材の確保の大変さ、重要性を教え、食べることへの認識を深めることで、健康を考える。	
	(内容) 畑作りから苗植え、水やり、除草、収穫までの食材生産の現場体験。収穫した芋を使って調理、給食を行う。又、その時期にあわせさつまいもの歴史・栽培法、調理実習、芋の栄養、食の安全等の講座により食に対する知識の勉強を行った。更に芋に関する地域のもつ知識（レシピ）を募集し、レシピ集を作成、配布する。	
	(市民活動団体等の役割) 全般の企画、実施、取りまとめ	(市の役割) 調理実習や知識習得のための講座へのアドバイスや講師派遣

	市民活動団体等	市※
協働事業の成果・効果	芋の栽培 苗植え 参加 95人 水やり 2週間に1回 平均5人 除草 3回 延40人 収穫 参加 140人 講座 芋の知識 参加 35人 調理実習 参加 50人 栄養学 参加 20人 食の安全 参加 50人	市が調理実習と栄養学講座に講師派遣を行うことで、調理技術の習得、食文化・地産地消についての知識習得、食と健康について考える機会を提供することができた。 事業を通して、子どもたちの食への感謝、食を大切にする心を育てるとともに、世代間の交流により、食文化の継承にも繋がった。
課題	芋の収穫には多数の参加者があったが、その他の企画に、その人数を呼び込むことができれば、なお効果が見込めたと思います。	

注1 事業実施が確認できる資料（写真、新聞記事、作成したチラシ、パンフレット等）を添付してください。

注2 事業の成果・効果欄には来場者数、実施日数等の数値に表れる実績の記載をお願いします。

注3 ※印の箇所は関係課(G)で記入します。

自己評価書

(健康増進グループ)

事業の名称	食べるとはどういうことだろう (さつま芋栽培をつうじて)	
団体名・氏名 関係課(G)	鳴尾東子ども会協議会 健康増進グループ	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに実施できたか	①. できた	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	2. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により期待した成果を上げることができたか	①. 期待どおり	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	2. 概ね期待どおり 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実施した効果はあったか	①. 非常にあった	主な理由 事業を通して、子どもたちの食への感謝、食を大切に作る心を育てるとともに、世代間の交流により、食文化の継承にも繋がった。また、市と地域住民が協働で事業を実施することによって、市の取り組みを知ってもらいよい機会になった。
	2. あった 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
4. その他、評価すべき点、反省すべき点	「西宮市食育推進計画」推進の一環となる取り組みであり、本事業に参加した子どもや保護者だけでなく、地域住民への波及効果もあるこの取り組みは大いに評価できる。	

自己評価書

(鳴尾東子ども会協議会)

事業の名称	食べるとはどういうことだろう (さつま芋栽培をつうじて)	
団体名・氏名 関係課(G)	鳴尾東子ども会協議会 健康増進課	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに実施できたか	1. できた	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	2. 概ねできた	
	3. あまりできなかった	
	4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により期待した成果を上げることができたか	1. 期待どおり	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	2. 概ね期待どおり	
	3. あまりなかった	
	4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実施した効果はあったか	1. 非常にあった	主な理由
	2. あった	子ども達が、嬉々として農作業に取組み、調理実習に取り組む姿は、今後の各家庭の食卓でも、食材のこと食べることについての興味が出てくるのではないかと思います。 又、地域から、レシピ募集に相当数の応募があり、効果があったと考えています。
	3. あまりなかった	
	4. ほとんどなかった	
4. その他、評価すべき点、反省すべき点	反省点として、講座についてのPRが若干弱かったので、今後は、内容、PR方法も含め検討したい。	